

會議記要 (七)

日時 昭和十八年十二月二日
場所 國家資力研究所會議室

記

國家資力研究所研究局會議は荒木理事、中川理事、平井氏、白井氏、石倉氏、渡邊氏、河野研究員、兎山研究員出席の下に開催さる。本會議に於ては國家資金計畫の現段階に於る重點が何處にあるものなりやの問題を廻り論議さる。戰爭段階が決戦に決戦を告げてある場合に於つて武力戦を圓滑に遂行するために經濟力の總べてを擧げて之に當らねならぬことは言ふまでもないが、その場合に軍事豫算をまかなふべき資金調達の問題について國民經濟の強力と伸長との觀點から考へて、如何なる方策が取らるべきであり、又如何なる方策によつてかかる要求に答へる事が効果的であるかについては特に検討を加へて置かねばならぬ點である。

之は結局現段階に於る資金計畫の重點が何處にあるかと言ふ事を適確に把握する事に密接な關聯を持つてゐる。本會議に於ては従つて喫緊の問題として之を採擇し、次回に之が詳細なる検討を試みる事にした。次いで中川理事によりロバートソンによる投資方式の提示あり之が検討を提案され、午後五時閉會せり。

以上